

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 国語科

| | | | |
|----|---|-----------|------|
| 科目 | 現代文探究 A | 履修学年・2 学年 | 教科担当 |
| | | 2 単位（必修） | |
| 目標 | (1)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2)論理的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉の価値への認識を深めるとともに我が国の言語文化の担い手として自覚し、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | | |

◇ 1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|--|--|--|--|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、課題文を細部までの確に読解できると共に、要約、表現能力を使いこなし、他者に対して明瞭に伝わる内容にまとめることが出来た。 | 支援なしで、課題文の概要を理解し、論旨や主張について、効果的にまとめることが出来た。 | 支援を得ながら、課題文の概要を理解し、論旨や主張についても理解し気付けた。 | 課題文の概要理解が曖昧で、論旨や主張についても十分に理解し気付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、課題文の論旨や主張、論理の構成について高度な意見をまとめ、多様な方法を使いこなし、的確に表現することが出来た。 | 支援なしで、課題文の論旨や主張、論理の構成について自分なりの意見をまとめ、効果的に表現することが出来た。 | 支援を得ながら、課題文の論旨や主張、論理の構成について理解し、自分なりの意見表現をした。 | 課題文の論旨や主張、論理の構成について十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、与えられた諸課題に進んで取り組み、処理能力を使いこなし課題解決を達成し、自主的に別の課題にも取り組み姿勢を示した。 | 支援なしで、与えられた諸課題に進んで取り組み、効果的に課題解決を果たせた。 | 支援を得ながら、与えられた諸課題に取り組み、課題解決が果たせた。 | 与えられた諸課題に取り組み、課題解決に努力することを十分に果たそうとしなかった。 |

◇ 2 教科書・使用教材等

| |
|---|
| 教科書：明治書院「精選論理国語」 筑摩書房「文学国語」 副教材：「WINSTEP 現代文 2」、「新現代文単語」、 「新版意味から学ぶ頻出漢字 3000」、プリント教材 |
|---|

◇ 3 授業の方法・学び方

| |
|--|
| 教科書所収の文章を元に講義と演習を行う。段落構成の把握、各段落の要旨、表現技法、等の基本的な読解を踏まえて、各自の意見を構成し、集団内での意見交換に取り組みこともある。 |
|--|

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|--------------------------------|---|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など | 4 割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など | 6 割 |
| 態 | 協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性 | 実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など | |

◇ 5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|------|--|---|---|---|------|
| 1 学期 | 【文学国語 小説（一）】山月記（中島敦） 【論理国語 2 社会行動】行動変容を起こす有効な方法（大竹文雄） 【文学国語 随想・評論（三）】異なり記念日（齋藤陽道） | ○ | ○ | ○ | 2 6 |
| 2 学期 | 【文学国語 小説（二）】ころも（夏目漱石） 【論理国語 4 哲学・認知】学びとは何かー（探究人）になるためにー（今井むつみ） 【論理国語 5 環境・科学】なぜ科学を学ぶのか（池内了） 【文学国語 詩歌】小景異情（室生犀星）、永訣の朝（宮澤賢治）他 | ○ | ○ | ○ | 2 6 |
| 3 学期 | 【論理国語 経済・資本】貨幣は言葉である（丸山圭三郎） 経済学の宇宙（岩井克人） 【文学国語 小説（三）】捨てない女（多和田葉子） | ○ | ○ | ○ | 1 8 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 国語科

| | | | |
|----|---|-----------|------|
| 科目 | 古典探究 | 履修学年・2 学年 | 教科担当 |
| | | 3 単位（必修） | |
| 目標 | (1)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)古典などを通した先人のものの見方、考え方との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | | |

◇ 1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|--|--|--|--|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、課題文を細部までの確に読解できると共に、要約、表現能力を使いこなし、他者に対して明瞭に伝わる内容にまとめることが出来た。 | 支援なしで、課題文の概要を理解し、論旨や主張について、効果的にまとめることが出来た。 | 支援を得ながら、課題文の概要を理解し、論旨や主張についても理解し気付けた。 | 課題文の概要理解が曖昧で、論旨や主張についても十分に理解し気付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、課題文の論旨や主張、論理の構成について高度な意見をまとめ、多様な方法を使いこなし、的確に表現することが出来た。 | 支援なしで、課題文の論旨や主張、論理の構成について自分なりの意見をまとめ、効果的に表現することが出来た。 | 支援を得ながら、課題文の論旨や主張、論理の構成について理解し、自分なりの意見表現をした。 | 課題文の論旨や主張、論理の構成について十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、与えられた諸課題に進んで取り組み、処理能力を使いこなし課題解決を達成し、自主的に別の課題にも取り組み姿勢を示した。 | 支援なしで、与えられた諸課題に進んで取り組み、効果的に課題解決を果たせた。 | 支援を得ながら、与えられた諸課題に取り組み、課題解決が果たせた。 | 与えられた諸課題に取り組み、課題解決に努力することを十分に果たそうとしなかった。 |

◇ 2 教科書・使用教材等

教科書：東京書籍「精選古典探究」古文編・漢文編
 副教材：「Key&Point 古文単語 330 四訂版」、「完全マスター 古典文法改訂三版」、「漢文必修五訂版」、「WINSTEP Core 国語2 古典編」、プリント教材

◇ 3 授業の方法・学び方

教科書所収の作品を元に講義と演習を行う。古文・漢文の現代語訳、内容把握、文法事項・句法、語句の意味等の基本的な読解を踏まえて、各自の意見を構成し、集団内での意見交換に取り組むこともある。

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|--------------------------------|---|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など | 4 割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など | 6 割 |
| 態 | 協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性 | 実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など | |

◇ 5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|------|--|---|---|---|------|
| 1 学期 | 【古文】『宇治拾遺物語』小野篁、広才のこと 【古文】『伊勢物語』初冠 【漢文】『十八史略』先從隗始 【漢文】『史記』鴻門之会 【古文】『枕草子』中納言参り給ひて、雪のいと高う降りたるを | ○ | ○ | ○ | 3 9 |
| 2 学期 | 【古文】『平家物語』忠度の都落ち 【漢文】『論語』『孟子』 【古文】『徒然草』花は盛りに 【漢文】『老子』『莊子』 | ○ | ○ | ○ | 3 9 |
| 3 学期 | 【漢文】春夜宴桃李園序 【古文】『源氏物語』光源氏の誕生、若紫 | ○ | ○ | ○ | 2 7 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 地理歴史科

| | | | |
|----|---|-----------|------|
| 科目 | 日本史探究 | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 3単位（必修選択） | |
| 目標 | 社会的事象の歴史の見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。 | | |

◇1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|---|--|---|--|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、日本史の大枠と展開について諸資料から情報を適切に調べる技能を使いこなし、地理や世界史と関連付けて理解することができた。 | 支援なしで、日本史の大枠と展開に関わる諸事象について、効果的に情報を適切に調べまとめることができた。 | 支援を得ながら、日本史の大枠と展開に関わる諸事象について理解し気付けた。 | 日本史の大枠と展開に関わる諸事象について十分に理解し気付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を多角的に考察する力を使いこなし、構想したことを効果的に説明し、議論することができた。 | 支援なしで、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を理解し、効果的に説明することができた。 | 支援を得ながら、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を理解し表現した。 | 歴史的諸事象の意味・意義・特色等を十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、自国・他国の文化の尊重する態度を養い、それを使いこなし、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求することができた。 | 支援なしで、よりよい社会の実現のために課題を主体的に追求し、効果的に自分に与えられた役割を果たせた。 | 支援を得ながら、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求するという役割を果たせた。 | よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求するという役割を十分に果たそうとしなかった。 |

◇2 教科書・使用教材等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教科書「詳説日本史探究」山川出版社 ・副教材「新詳日本史」浜島書店 ・「ゼミナール日本史」浜島書店 ・プリント教材 ・学習端末 |
|---|

◇3 授業の方法・学び方

| |
|--|
| 日本の歴史に関わる諸事象について、講義と演習を行う。基礎的な知識・技能をベースに、協同的な学びを取り入れながら、主体的に創意工夫と探究を行い、効果的な表現方法を身に付けていく。 |
|--|

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|-----------------------------|------------------------------------|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査・課題制作物・授業への取り組み ノート（プリント）等記述など | 6割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査・課題制作物・授業への取り組み ノート（プリント）等記述など | 4割 |
| 態 | 協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性 | 課題制作物・授業への取り組み ノート（プリント）等記述・自己評価 | |

◇5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|---|---|---|---|------|
| 1学期 | 【原始・古代】 農耕社会の成立、古墳文化の展開、飛鳥の朝廷 律令国家への道、平城京の時代、律令国家の文化 律令国家の変容 摂関政治、国風文化、地方政治の展開と武士 | ○ | ○ | ○ | 39 |
| 2学期 | 【中世】 院政の始まり、院政と平氏政権 鎌倉幕府の成立、武士の社会、モンゴル襲来と幕府の衰退 室町幕府の成立、幕府の衰退と庶民の台頭 鎌倉文化、室町文化 | ○ | ○ | ○ | 39 |
| 3学期 | 【中世・近世】 戦国大名の登場、織豊政権 桃山文化 | ○ | ○ | ○ | 27 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 地理歴史科

| | | | |
|----|---|-----------|------|
| 科目 | 世界史探究 | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 3単位（必修選択） | |
| 目標 | 社会的事象の歴史の見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。 | | |

◇1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|---|--|---|--|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、世界史の大枠と展開について諸資料から情報を適切に調べる技能を使いこなし、地理や日本史と関連付けて理解することができた。 | 支援なしで、世界史の大枠と展開に関わる諸事象について、効果的に情報を適切に調べまとめることができた。 | 支援を得ながら、世界史の大枠と展開に関わる諸事象について理解し気付けた。 | 世界史の大枠と展開に関わる諸事象について十分に理解し気付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を多角的に考察する力を使いこなし、構想したことを効果的に説明し、議論することができた。 | 支援なしで、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を理解し、効果的に説明することができた。 | 支援を得ながら、歴史的諸事象の意味・意義・特色等を理解し表現した。 | 歴史的諸事象の意味・意義・特色等を十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、自国・他国の文化の尊重する態度を養い、それを使いこなし、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求することができた。 | 支援なしで、よりよい社会の実現のために課題を主体的に追求し、効果的に自分に与えられた役割を果たせた。 | 支援を得ながら、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求するという役割を果たせた。 | よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求するという役割を十分に果たそうとしなかった。 |

◇2 教科書・使用教材等

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教科書「詳説世界史」山川出版社 ・副教材「アカデミア世界史」浜島書店 ・プリント教材 ・学習端末 |
|--|

◇3 授業の方法・学び方

| |
|--|
| 世界の歴史に関わる諸事象について、講義と演習を行う。基礎的な知識・技能をベースに、協同的な学びを取り入れながら、主体的に創意工夫と探究を行い、効果的な表現方法を身に付けていく。 |
|--|

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|-----------------------------|--------------------------|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査・授業時の観察・プリント等記述 など | 6割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査・授業時の観察・プリント等記述 など | 4割 |
| 態 | 協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性 | 授業時の観察・プリント等記述・授業に臨む姿勢など | |

◇5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|--|---|---|---|------|
| 1学期 | 【諸地域の歴史的特質の形成】 文明の成立と古代文明の特質 中央ユーラシアと東アジア世界 南アジア世界と東南アジア世界の展開 西アジアと地中海周辺の世界形成 | ○ | ○ | ○ | 39 |
| 2学期 | 【諸地域の歴史的特質の形成】 イスラーム教とヨーロッパ世界の形成 【諸地域の交流・再編】 イスラーム教の伝播と西アジアの傾向 ヨーロッパ世界の変容と展開 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 | ○ | ○ | ○ | 39 |
| 3学期 | 【諸地域の交流・再編】 大交易・大交流の時代 アジアの諸帝国の繁栄 | ○ | ○ | ○ | 27 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 公民科

| | | | |
|----|--|----------|------|
| 科目 | 公共 | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 2単位（必履修） | |
| 目標 | 現代社会の社会的諸事象について主体的に考察し公正に判断する態度を育てる。社会的事象の見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。 | | |

◇ 1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|---|--|---|--|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、現代社会の様々な問題について諸資料から情報を適切に調べる技能を使いこなし、諸原理と関連付けて理解することができた。 | 支援なしで、現代社会の様々な問題について、効果的に情報を適切に調べまとめることができた。 | 支援を得ながら、現代社会の様々な問題について、理解し気付けた。 | 現代社会の様々な問題について、十分に理解し気付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、社会的諸事象の意味・意義・特色等を多角的に考察する力を使いこなし、構想したことを効果的に説明し、議論することができた。 | 支援なしで、社会的諸事象の意味・意義・特色等を理解し、効果的に説明することができた。 | 支援を得ながら、社会的諸事象の意味・意義・特色等を理解し表現した。 | 社会的諸事象の意味・意義・特色等を十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、民主主義や平和を尊重する態度を養い、それを使いこなし、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求することができた。 | 支援なしで、民主主義や平和を尊重し、よりよい社会の実現のために課題を主体的に追求し、効果的に自分に与えられた役割を果たせた。 | 支援を得ながら、民主主義や平和を尊重し、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求するという役割を果たせた。 | 民主主義や平和を尊重し、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に追求するという役割を十分に果たそうとしなかった。 |

◇ 2 教科書・使用教材等

- ・教科書「詳述公共」実教出版
- ・副教材「最新公共資料集 2026」第一学習社
- ・副教材「詳述倫理 演習ノート」実教出版
- ・プリント教材

◇ 3 授業の方法・学び方

現代の国内外の社会的事象について、発表学習や講義などを行う。基礎的な知識・技能をベースに、協同的な学びを取り入れながら、主体的に創意工夫と探究を行い、効果的な表現方法を身に付けていく。

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|---------------------|------------------------------------|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査、業時の観察、プリント等記述、など | 6割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査、授業時の観察、プリント等記述、など | 4割 |
| 態 | 協働力・コミュニケーション能力 積極性 | 授業時の観察、プリント等記述、テストへの取り組み、授業に臨む姿勢など | |

◇ 5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|---|---|---|---|------|
| 1学期 | 【公共の扉】 社会をつくる私たち 人間としてよく生きる 民主社会の倫理 民主国家における基本原理 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| 2学期 | 【よりよい社会の形成に参加する】 日本国憲法の基本的性格 日本の政治機構と政治参加 現代の経済社会 経済社会の在り方と国民福祉 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| 3学期 | 国際経済の動向と課題 国際経済の動向と課題 【持続可能な社会づくりの主体となる私たち】 | ○ | ○ | ○ | 18 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 数学科

| | | | |
|----|--|----------|------|
| 科目 | 数学Ⅱ | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 3単位（必履修） | |
| 目標 | 数学Ⅱにおける基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。事象を数学的に考察し、処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。 | | |

◇ 1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用Ⅱ | レベル3 A 活用Ⅰ | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|---|--|---|--|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、公式・定理や各種計算を使いこなし、問題を解決するために活用することができた。 | 支援なしで、公式・定理や各種計算について、効果的に問題をかいつくねうために活用することができた。 | 支援を得ながら、公式・定理や各種計算の活用の仕方について理解し気付いた。 | 公式・定理や各種計算の活用の仕方について十分に理解し気付かなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を使いこなし答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。 | 支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を効果的に活用し、答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。 | 支援を得ながら、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現の良さを理解し表現できた。 | 数学的な思考や判断をすることや数学的な表現の良さを十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、日々の学習方法を確立させ、それを使いこなして自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整ができる。 | 支援なしで、日々の学習方法を確立して効果的に自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整を果たせた。 | 支援を得ながら、日々の学習方法を確立することを果たせた。 | 日々の学習方法を確立させることを十分に果たそうとしなかった。 |

◇ 2 教科書・使用教材等

- ・教科書「数学Ⅱ」数研出版
- ・副教材「クリアー 数学Ⅱ+B+C、完成ノート」数研出版
- 「チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B+C」数研出版
- ・プリント教材 ・学習端末 ・各自用意するもの(ノート等)

◇ 3 授業の方法・学び方

一斉講義・各自の演習・協働での考察などの方法で授業を行う。各自で教材を読み込み、授業時に活用できるように準備すること。また、週末課題には確実に取り組み、技能の向上を図ること。

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|-----------------------|--|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査・課題テスト・授業時の観察 ノート等記述 など | 6割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査・課題テスト・授業時の観察 ノート等記述 など | 4割 |
| 態 | 協働力 | 課題テスト・小テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など | |

◇ 5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|---|---|---|---|------|
| 1学期 | 【式と証明】【複素数と方程式】 二項定理、複素数の概念と計算、解と係数の関係、剰余の定理と因数定理、高次方程式の解き方 【図形と方程式】 内分点と外分点の座標、直線の方程式、2直線の関係、円の方程式、軌跡と領域 【三角関数】 一般角と弧度法、三角関数の定義と相互関係、加法定理 | ○ | ○ | ○ | 39 |
| 2学期 | 【指数関数・対数関数】 指数関数とグラフの特徴、対数の定義と性質、対数関数のグラフの特徴、常用対数 【微分法と積分法】 平均変化率、極限、微分係数と導関数、接線の方程式の求め方、関数の増減とグラフ グラフと方程式・不等式 | ○ | ○ | ○ | 39 |
| 3学期 | 【微分法と積分法】 不定積分の定義と性質、定積分の計算と性質、曲線で囲まれた領域の面積と積分 【数学Ⅱの振り返り】 入試問題演習など | ○ | ○ | ○ | 27 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 数学科

| | | | |
|----|--|-----------|------|
| 科目 | 数学 B | 履修学年・2 学年 | 教科担当 |
| | | 2 単位（必履修） | |
| 目標 | 数学Bにおける基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。事象を数学的に考察し、処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。 | | |

◇ 1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|---|--|---|--|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、日常生活の中で物事を数学的に捉え、場合の数や確率を使いこなすことができた。 | 支援なしで、日常生活の中で物事を数学的に捉え、効果的に場合の数や確率を活用することができた。 | 支援を得ながら、公式・定理や各種計算の活用の仕方について理解し気付けた。 | 公式・定理や各種計算の活用の仕方について十分に理解し気付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を使いこなし答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。 | 支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を効果的に活用し、答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。 | 支援を得ながら、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現の良さを理解し表現できた。 | 数学的な思考や判断をすることや数学的な表現の良さを十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、日々の学習方法を確立させ、それを使いこなして自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整ができる。 | 支援なしで、日々の学習方法を確立して効果的に自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整を果たせた。 | 支援を得ながら、日々の学習方法を確立することを果たせた。 | 日々の学習方法を確立させることを十分に果たそうとしなかった。 |

◇ 2 教科書・使用教材等

- ・教科書「数学B」数研出版
- ・副教材「クリアー 数学II+B+C、完成ノート」数研出版
- 「チャート式 基礎からの数学II+B+C」数研出版
- ・プリント教材 ・学習端末 ・各自用意するもの(ノート等)

◇ 3 授業の方法・学び方

一斉講義・各自の演習・協働での考察などの方法で授業を行う。各自で教材を読み込み、授業時に活用できるように準備すること。また、週末課題には確実に取り組み、技能の向上を図ること。

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|--------------------|---|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査・課題テスト・授業時の観察・ノート等記述 など | 6割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査・課題テスト・授業時の観察・ノート等記述 など | 4割 |
| 態 | 協働力 | 課題テスト・小テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など | |

◇ 5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|------|---|---|---|---|------|
| 1 学期 | | | | | |
| 2 学期 | 【数列】 等差数列とその和、等比数列とその和・複利計算、和の記号Σ、階差数列から一般項を求め方法、和の情報から一般項を求める方法、和の求め方の色々な工夫、漸化式から一般項を求める方法、数学的帰納法、数学的帰納法を用いた種々の証明 | ○ | ○ | ○ | 3 9 |
| 3 学期 | 【統計的な推測】 確率変数と確率分布、確率変数の期待値と分散、確率変数の変換、確率変数の和と期待値、独立な確率変数と期待値・分散、二項分布、正規分布、母集団と標本、標本平均とその分布、推定、仮説検定 | ○ | ○ | ○ | 2 7 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 数学科

| | | | |
|----|--|----------|------|
| 科目 | 数学C | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 1単位（必履修） | |
| 目標 | 数学Cにおける基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。事象を数学的に考察し、処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。 | | |

◇1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|---|--|---|--|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、公式・定理や各種計算を使いこなし、問題を解決するために活用することができた。 | 支援なしで、公式・定理や各種計算について、効果的に問題をかいつくねうために活用することができた。 | 支援を得ながら、公式・定理や各種計算の活用の仕方について理解し気付けた。 | 公式・定理や各種計算の活用の仕方について十分に理解し気付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を使いこなし答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。 | 支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を効果的に活用し、答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。 | 支援を得ながら、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現の良さを理解し表現できた。 | 数学的な思考や判断をすることや数学的な表現の良さを十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、日々の学習方法を確立させ、それを使いこなして自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整ができる。 | 支援なしで、日々の学習方法を確立して効果的に自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整を果たせた。 | 支援を得ながら、日々の学習方法を確立することを果たせた。 | 日々の学習方法を確立させることを十分に果たそうとしなかった。 |

◇2 教科書・使用教材等

・教科書「数学C」数研出版株式会社
 ・副教材「クリアー数学II+B+C」、「チャート式基礎からの数学II+B+C」「クリアー数学C完成ノート【平面上のベクトル】【空間のベクトル】」数研出版株式会社

◇3 授業の方法・学び方

一斉講義・各自の演習・協働での考察などの方法で授業を行う。各自で教材を読み込み、授業時に活用できるように準備すること。また、週末課題には確実に取り組み、技能の向上を図ること。

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|--------------------|--|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査など | 6割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査など | 4割 |
| 態 | 協働力 | 課題への取り組み状況・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など | |

◇5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|--|---|---|---|------|
| 1学期 | 【ベクトル】 平面ベクトルと空間ベクトル…有向線分とベクトル、ベクトルの演算、成分表示、内積、位置ベクトルを用いた点の位置の表現方法、3点が一直線上にある条件、4点在同一平面上にある条件、1次独立と2直線の交点の表し方、直線や平面・円・球面のベクトル方程式、ベクトルの存在範囲、法線ベクトルとその使い方 | ○ | ○ | ○ | 39 |
| 2学期 | | | | | |
| 3学期 | | | | | |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 数学科

| | | | |
|----|--|-----------|------|
| 科目 | 数学演習 | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 1単位（自由選択） | |
| 目標 | 数学ⅠAⅡBCで学習した基本的な概念や原理・法則を、演習をもとに深めさせ、知識の習得と技能の習熟を図るとともに基礎的な入試レベルの問題を自力で攻略できることを目指す。事象を数学的に考察し、処理する能力を育てると同時に、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。 | | |

◇1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用Ⅱ | レベル3 A 活用Ⅰ | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|---|--|---|--|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、公式・定理や各種計算を使いこなし、問題を解決するために活用することができた。 | 支援なしで、公式・定理や各種計算について、効果的に問題をかいつくねるために活用することができた。 | 支援を得ながら、公式・定理や各種計算の活用の仕方について理解し気付けた。 | 公式・定理や各種計算の活用の仕方について十分に理解し気付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を使いこなし答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。 | 支援なしで、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現を効果的に活用し、答案作成や周囲に自身の意見を説明することができた。 | 支援を得ながら、数学的な思考や判断をすることができ、数学的な表現の良さを理解し表現できた。 | 数学的な思考や判断をすることや数学的な表現の良さを十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、日々の学習方法を確立させ、それを使いこなして自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整ができる。 | 支援なしで、日々の学習方法を確立して効果的に自身の得意・不得意分野を明確にした上で、学習の調整を果たせた。 | 支援を得ながら、日々の学習方法を確立することを果たせた。 | 日々の学習方法を確立させることを十分に果たそうとしなかった。 |

◇2 教科書・使用教材等

・教科書「数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B、数学C」数研出版
 ・副教材「チャート式 基礎からの数学シリーズ対応 Set Up 数学演習ⅠⅡABC〔ベクトル〕標準編〔受験編〕」数研出版
 「チャート式基礎からの数学Ⅰ+A、Ⅱ+B、C」数研出版

◇3 授業の方法・学び方

一斉講義・各自の演習・協働での考察などの方法で授業を行う。各自で教材を読み込み、授業時に活用できるように準備すること。また、週末課題には確実に取り組み、技能の向上を図ること。

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|--------------------|---|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査・授業時の観察・ノート等記述 など | 6割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査・授業時の観察・ノート等記述 など | 4割 |
| 態 | 協働力 | 小テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など | |

◇5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・＜領域＞ 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|--|---|---|---|------|
| 1学期 | 【数と式】【関数と方程式・不等式】【整数の性質】【場合の数と確率】【三角比・三角関数】 【式と証明、論理と集合】【データの分析】【図形の性質】 2重根号の外し方、対称式の計算、1次不等式、3乗根と割り算の余り、解と係数の関係、高次方程式、2次関数のグラフ、2次不等式、整数の性質と背理法、方程式の整数解の求め方、最短経路、条件付きの確率、三角比、領域の図示 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 2学期 | 【図形と方程式】【数列】【三角比・三角関数】【指数・対数関数】【ベクトル】 折れ線の長さの最小値、軌跡、実数条件の使い方、 数列の和に関する種々の問題、確率と漸化式、 三角方程式と解の個数、三角関数の最大値、指数関数を用いた応用問題、 対数不等式の表す領域、 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 3学期 | 【微分法と積分法】【統計的な推測】 2曲線の交点における接線のなす角、無理数と関数の最大値最小値、図形の面積の最大値 3次関数のグラフに引ける接線の本数、絶対値を含む定積分、連立不等式で表される領域の面積 確率変数の期待値と分散の性質 | ○ | ○ | ○ | 9 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 理科(物理)

| | | | |
|----|--|-----------|------|
| 科目 | 物理 | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 3単位（選択必修） | |
| 目標 | 観察、実験などを通して、自然界に起こる物理分野の現象に含まれる原理・法則を見出し、理解を深める。さらにそれらの法則を用いて新しい現象を予測したり説明することができるようになる。 | | |

◇ 1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|---------------------------|--|---|---------------------------------------|-------------------------------|
| (知) 知識 技能 | 支援なしで、数学的知識を活用し自然現象の法則性を発見するプロセスを使いこなし、新たな別の問題でもまとめることができた | 支援なしで、数学的知識を活用し自然現象の法則性について、効果的に整理しまとめることができた | 支援を得ながら、数学的知識を活用し自然現象についての法則性を理解し気付けた | 自然現象についての法則性を十分に理解し気付けなかった |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、自然現象の法則性や知識を使いこなし、考察したことを説明し、それらを基に議論することができた。 | 支援なしで、自然現象の法則性や知識を理解し効果的に説明することができた | 支援を得ながら、自然現象の法則性や知識を理解し表現した。 | 自然現象の法則性や知識を十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに 向かう力 人間性 | 支援なしで、探究的・主体的な学びをすることが十分にできた | 支援なしで、探究的・主体的な学びをすることができた。 | 支援を得ながら、探究的・主体的な学びをすることができた。 | 探究的・主体的な学びを十分に行うことができなかった。 |

◇ 2 教科書・使用教材等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教科書「物理」第一学習社 ・問題集「2026 セミナー物理基礎+物理」第一学習社 ・フォローアップドリル「力学」・「波動」・「電磁気」数研出版 ・「フォトサイエンス物理図録」数研出版 |
|---|

◇ 3 授業の方法・学び方

| |
|---|
| <p>身近な自然現象の仕組みや法則性について、講義や実験を行う。法則性を、数学的知識をもとにして説明できることを理解するためには、各自で演習を十分に行う必要がある。実験では、主体的に創意工夫を行い、DATA から得られることを適切に表現方法を身につけていく。</p> |
|---|

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|---------------------------------|--|-----------|
| 知 | 基礎知識と能力 | 定期考査・実験・課題制作物・小テスト・提出物等記述など | 5割 |
| 思 | 論理的思考力・実践力・創造力 | 定期考査・実験・課題制作物・小テスト・提出物等記述など | 5割 |
| 態 | 探究力・コミュニケーション能力 ・積極性・表現力・発信力 | 実験・課題制作物・授業時の観察 提出物等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など | |

◇ 5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|--|---|---|---|------|
| 1学期 | 【力学】 平面運動と放物運動・剛体のつり合い、運動量の保存について学習する。 | ○ | ○ | ○ | 39 |
| 2学期 | 【波動】 波の性質、音波、光波について学習する。 【電磁気】 電場と電位について学習する。 | ○ | ○ | ○ | 39 |
| 3学期 | 【電磁気】 電場と電位・電流について学習する。 | ○ | ○ | ○ | 27 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 理科(生物)

| | | | |
|----|--|-----------|------|
| 科目 | 生物 | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 3単位（必修選択） | |
| 目標 | ・日常生活と関連付けることで生物や生物現象への関心を高め、観察・実験などを通して生物学的に探究する力を育てるとともに、生物学の考え方を養う。 ・進路の実現に向けて、発展的な生命現象を確実に身に着ける。" | | |

◇ 1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|--|---|---|--|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ、知識を使いこなし、別の問題にも適用して考えることができた | 支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ、効果的に整理しまとめることができた | 支援を得ながら、生命現象を科学的な見地からとらえ理解し気付けた。 | 生命現象を科学的な見地からとらえることについて十分に理解し気付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ知識を使いこなし、解決を視野に入れて考察したことを説明し、それらを基に議論することができた。 | 支援なしで、生命現象を科学的な見地からとらえ効果的に説明することができた | 支援を得ながら、生命現象を科学的な見地からとらえ理解し表現した。 | 生命現象を科学的な見地からとらえることについて十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、集団活動において他者と協力して取り組み、それを使いこなし別的事象にも対応することができる | 支援なしで、集団活動において人の立場を察して効果的に手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。 | 支援を得ながら、集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。 | 集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を十分に果たそうとしなかった。 |

◇ 2 教科書・使用教材等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教科書「生物」東京書籍 ・補助教材「スクエア最新図説生物」(第一学習社) ・問題集「ニューグローバル生物基礎・生物」(東京書籍) |
|---|

◇ 3 授業の方法・学び方

| |
|--|
| グループワークや実験を行い、協同的な学びを通して主体的に創意工夫や探究を行う力や表現力を育て、それらを通じて単元の主題をイメージ化し、問題意識を形成する。次に講義や演習を通じて、知識や考え方を整理し生命現象に対応する科学的な概念の形成・定着を図る。大学入試を見据え、発展的な演習問題にも取り組む。 |
|--|

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|-----------------------------|----------------------------|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査・確認テストなど | 5割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査・確認テストなど | 5割 |
| 態 | 協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性 | 実験実習レポート・授業に臨む姿勢・ポートフォリオなど | |

◇ 5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|--|---|---|---|------|
| 1学期 | 【生物の進化】 生命の起源と細胞の進化 遺伝子の変化と進化のしくみ 生物の系統と進化 | ○ | ○ | ○ | 39 |
| 2学期 | 【生物の進化】 生物の系統と進化 【生命現象と物質】 細胞と物質 | ○ | ○ | ○ | 39 |
| 3学期 | 【生命現象と物質】 代謝とエネルギー 【遺伝子の働き】 遺伝情報のその発現 | ○ | ○ | ○ | 27 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 理科

| | | | |
|----|---|-----------|------|
| 科目 | 化学基礎 | 履修学年・2 学年 | 教科担当 |
| | | 3 単位（必履修） | |
| 目標 | 物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせて見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。 | | |

◇ 1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|--|--|-----------------------------|-----------------------------|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、物質とその変化を微視的な視点からとらえてその知識を使いこなし、実験結果と考察を区別してまとめることができた。 | 支援なしで、物質とその変化を微視的な視点からとらえて、効果的に整理してまとめることができた。 | 支援を得ながら、物質とその変化について理解し気付けた。 | 物質とその変化について十分に理解し気付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、物質とその変化を微視的な視点からとらえてその知識を使いこなし多面的な考察から自らの言葉で化学現象を言語化できた。 | 支援なしで、物質とその変化を微視的な視点からとらえて効果的に化学現象を言語化できた。 | 支援を得ながら、化学現象を理解し言語化できた。 | 化学現象を十分に理解できず言語化できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、集団活動の中で他者と協働した取り組みを果たし、それを使いこなして他の問題にも対応することができた。 | 支援なしで、集団活動の中で自らの役割を十分に果たし、効果的に問題解決に寄与した。 | 支援を得ながら、集団活動の中で問題解決に寄与した。 | 集団活動の中で自らの役割を十分に果たそうとしなかった。 |

◇ 2 教科書・使用教材等

- ・教科書「高等学校 化学基礎<改訂版>」啓林館
- ・資料集「サイエンスビュー 化学総合資料 新訂版」実教出版
- ・問題集「26 セミナー化学基礎・化学」第一学習社
- ・補助教材「フォローアップドリル①②③」数研出版
- ・プリント教材 ・学習端末
- ・各自用意するもの（ノート 筆記具）

◇ 3 授業の方法・学び方

物質とその変化に関わる講義および実験を行う。実験の際は白衣・安全めがね・学習端末を持参すること。

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|--------------------------------|------------------------------------|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査・実験レポート・授業時の観察 ノート等記述 など | 5 割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査・実験レポート・授業時の観察 ノート等記述 など | 5 割 |
| 態 | 協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性 | 実験レポート・授業時の観察 ノート等記述・授業に臨む姿勢 など | |

◇ 5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|------|--|---|---|---|------|
| 1 学期 | 【化学と人間生活】 ・化学と人間生活 【物質の構成】 ・混合物と純物質 ・元素・単体・化合物 ・熱運動と物質の状態 ・原子の構造と電子配置 ・イオンの生成 ・イオン結合 ・共有結合 ・配位結合 ・金属結合 | ○ | ○ | ○ | 3 9 |
| 2 学期 | 【物質の変化】 ・原子量 ・分子量 ・式量 ・物質質量 ・化学反応式 ・酸・塩基の定義、価数、電離度、電離式 ・水の電離と pH ・中和反応 ・塩の性質 ・中和の量的関係 | ○ | ○ | ○ | 3 9 |
| 3 学期 | 【酸化還元反応】 ・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤 ・電池 ・電気分解 | ○ | ○ | ○ | 2 7 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 保健体育科

| | | | |
|----|---|----------|------|
| 科目 | 体育 | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 2単位（必履修） | |
| 目標 | 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康安全について理解し、技能を身に付ける。 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考判断するとともに、他者に伝える。 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育む。 | | |

◇1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|----------------|---|---|--|---|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、運動の合理的、計画的な実践を使いこなし、運動の多様性や体力の必要性について、技能を身に付け理解することができた。 | 支援なしで、運動の合理的、計画的な実践を行い、効果的に技能を身に付け理解することができた。 | 支援を得ながら、運動の特性や技能、健康安全について理解し気付けた。 | 運動の特性や技能、健康安全について十分に理解し気付けなかった。 |
| (思) 思考力判断力表現力 | 支援なしで、運動や健康の課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を使いこなし、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができた。 | 支援なしで、運動や健康の課題を発見し、効果的で合理的、計画的な解決方法し、自己の考えたことを他者に伝えることができた。 | 支援を得ながら、運動や健康の課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を理解し表現した。 | 運動や健康の課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力人間性 | 支援なしで、運動における競争や協働の場面で互いに協力して公正に取り組み、それを使いこなし自分の役割や責任を果たすことができた。 | 支援なしで、運動における競争や協働の場面で互いに協力して効果的に関り、自分の役割を見つけ責任を果たすことができた。 | 支援を得ながら、運動における競争や協働の場面において自分の役割を果たせた。 | 運動における競争や協働の場面において自分の役割を十分に果たそうとしなかった。 |

◇2 教科書・使用教材等

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 教科書「現代高等保健体育」大修館書店 プリント教材 学習端末 |
|--|

◇3 授業の方法・学び方

| |
|---|
| 運動理論と併せ、基礎的な技能と戦術を学習する。ペアやグループでの活動を中心に、他者と協力して課題の発見や問題解決を目指す。 |
|---|

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|--------------------------------|--------------------------|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 実技テスト・授業時の観察・ノート等記述 など | / |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 実技テスト・授業時の観察・ノート等記述 など | |
| 態 | 協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性 | 授業時の観察・ノート等記述・授業に臨む姿勢 など | |

◇5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|---|---|---|---|------|
| 1学期 | 【陸上競技（短距離走・リレー）】 クラウチングスタート、バトンパス 【球技（ネット型・ゴール型）】 基本的技術の定着、ゲーム、ルールの理解・審判 【体育理論】 運動・スポーツの学び方 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| 2学期 | 【水泳】 泳法（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ）、スタート、ターン 【球技（ネット型・ゴール型）】 基本的技術の定着、ゲーム、ルールの理解・審判 【体づくり運動】 各種トレーニングの立案・実践 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| 3学期 | 【陸上競技（長距離走）】 ペース走、ラップタイムの計測、ロードレース大会（記録会） 【球技】 球技大会に向けたグループ活動 | ○ | ○ | ○ | 18 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 保健体育科

| | | | |
|----|---|----------|------|
| 科目 | 保健 | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 1単位（必履修） | |
| 目標 | 生涯を通じる健康・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して理解を深め、他者に伝えることで主体的に学習に参加する態度を育む。 | | |

◇1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|--|---|---------------------------------------|-------------------------------------|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、個人及び社会生活における課題や情報について使いこなし、健康を支える環境づくりと関連付けてまとめることができた。 | 支援なしで、個人及び社会生活における課題や情報について、健康や安全に関する原則や概念に着目して効果的に捉えることができた。 | 支援を得ながら、個人及び社会生活における課題や情報について理解し気付けた。 | 個人及び社会生活における課題や情報について十分に理解し気付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、様々な表現やデータに基づいた分析方法を使いこなし、個人及び社会生活における課題解決にむけて発表することができた。 | 支援なしで、様々な表現やデータに基づいた分析方法を用い、効果的で工夫した表現ができた。 | 支援を得ながら、個人及び社会生活における課題を理解し表現した。 | 説得力のある自己表現が十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、ペア・グループ活動を察して協力して取り組み、それを使いこなして発表したり対応したりすることができる。 | 支援なしで、ペア・グループ活動において相手の立場を察して効果的に発言やサポートをし、貢献して役割を果たせた。 | 支援を得ながら、ペア・グループ活動において自分の役割を果たせた。 | ペア・グループ活動において自分の役割を十分に果たそうとしなかった。 |

◇2 教科書・使用教材等

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 教科書「現代高等保健体育」大修館書店 プリント教材 学習端末 |
|--|

◇3 授業の方法・学び方

| |
|---|
| <p>中学校までの基礎的な知識をベースに、個人及び社会生活における健康・安全に関する理解を深める。課題の発見と解決に向けた対話を行いまとめ、発表する形式をとる。また、実習を通して技能を獲得する。</p> |
|---|

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|--------------------------------|---------------------------------------|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など | 6割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など | 4割 |
| 態 | 協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性 | 課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など | |

◇5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|---|---|---|---|------|
| 1学期 | 【3単元 生涯を通じる健康】 ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 中高年期と健康 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 2学期 | 【3単元 生涯を通じる健康】 【4単元 健康を支える環境づくり】 ・個人発表形式 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 3学期 | 【3単元 生涯を通じる健康】 【4単元 健康を支える環境づくり】 ・個人発表形式 | ○ | ○ | ○ | 9 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 音楽（芸術）科

| | | | |
|----|---|-----------|------|
| 科目 | 音楽演習 | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 1単位（必修選択） | |
| 目標 | 音楽の諸活動を通して、音楽に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽や音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。また音楽・芸術に関する素養を身に付け、豊かな感性と音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、創造的で個性豊かな表現力・鑑賞力を高める。 | | |

◇ 1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用Ⅱ | レベル3 A 活用Ⅰ | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|---------------------------|---|---|---|--|
| (知) 知識 技能 | 支援なしで、音楽に関する知識や、音楽表現に必要な技能を使いこなし、生活や社会の中の音楽や音楽文化と豊かに関わる事ができた。 | 支援なしで、音楽に関する知識・技能の理解を深め効果的に応用し、生活や社会の中の音楽や音楽文化と豊かに関わる事ができた。 | 支援を得ながら、音楽に関する知識、多様な音楽表現について理解し気付けた。 | 音楽に関する知識、多様な音楽表現について十分に理解し気付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、多様な音楽の表現方法を使いこなし、柔軟で説得力のある自己表現を行い、周囲に良い影響を与える事ができた。 | 支援なしで、説得力のある音楽表現を理解し、効果的で工夫した自己表現ができた。 | 支援を得ながら、説得力のある音楽表現を理解し、表現した。 | 説得力のある音楽表現が十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに 向かう力 人間性 | 支援なしで、集団活動において他者と協力して取り組み、それを使いこなして別の事象や個人活動にも対応することができる。 | 支援なしで、集団活動において人の立場を察して効果的に手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。 | 支援を得ながら、集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を果たせた。 | 集団活動において人の立場を察して手を貸し、自分に与えられた役割を十分に果たそうとしなかった。 |

◇ 2 教科書・使用教材等

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教科書「MOUSA2」 教育芸術社 ・補助教材「3訂版 高校生のための音楽研究ノート」 教育芸術社 ・タブレット PC ・プリント教材 |
|--|

◇ 3 授業の方法・学び方

| |
|---|
| <p>合唱・独唱・器楽演奏・鑑賞・創作などについて、実践を中心に授業を行う。楽典については、問題演習を交えながら知識の定着を図る。他者と協力して取り組み、様々な音楽表現を学んでいきましょう。</p> |
|---|

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|-----------------------|---|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 実技テスト・筆記テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など | 4割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 実技テスト・筆記テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など | 6割 |
| 態 | 協働力 | 実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など | |

◇ 5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|---|---|---|---|------|
| 1学期 | 【歌唱】 ヴォイス・アンサンブル 【楽典】 音程 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 2学期 | 【歌唱】 芸術歌曲、合唱 【器楽】 合奏 【楽典】 音階、三和音 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 3学期 | 【創作】 作曲・プレゼンテーション | ○ | ○ | ○ | 9 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 芸術科

| | | | |
|----|--|----------|------|
| 科目 | 美術演習 | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 1単位（必履修） | |
| 目標 | 美術の制作を通し自分の感性と美意識に向き合い、イメージを視覚化する表現方法を習得する。 用途を考えながらデザインする計画性と、心にある世界を創造的に表現する力を培う。 芸術文化の流れを学び、心豊かな生活・社会を文化的視点から深く理解する姿勢を学ぶ。 | | |

◇1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|---|--|---------------------------------------|--|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、表現方法や、知識を体得し制作プロセスで使いこなし、個性的に作品に反映する事が出来た。 | 支援なしで、表現方法や知識を体得し効果的に制作に取り入れることができた。 | 支援を得ながら、表現方法や知識を活用し、制作を通し必要性を理解し気付けた。 | 表現方法や知識を十分に理解し気付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、多様な表現の技術を使いこなし計画性を持ち制作に取り組み作品を完成出来た。自分のイメージの美しさを十分に伝えられた。 | 支援なしで、多様な表現の技術を理解し効果的で充実した制作ができた。 | 支援を得ながら、多様な表現方法を理解出来た。 | 課題内容を理解せず制作の手法が少なく雑で作品は未完成、もしくは未提出、表現方法を十分に理解できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、前向きに制作に取り組み、技術や知識を使いこなし周囲と協力し集団活動におき自他ともに充実した時間を築くことが出来た。 | 支援なしで、制作に集中し、片付けをきちんとして、効果的に集団活動の充実を果たせた | 支援を得ながら、集団活動において与えられた役割を果たせた。 | 授業姿勢が消極的で、集団活動において制作に集中せず与えられた役割を十分に果たそうとしなかった。 |

◇2 教科書・使用教材等

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教科書「美術II」光村図書 ・プリント教材・ファイル・スケッチブック ・各自用意するもの（絵の具セット等用具一式）鉛筆 |
|--|

◇3 授業の方法・学び方

| |
|--|
| <p>ファイルでのワークシートや、スケッチブック等、作品・デザインを通し、幅広い表現方法や、美術的な見方・考え方を習得する。</p> |
|--|

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|---------------------|---------------------------------|-----------|
| 知 | 論理的思考力・知識と能力 実践力 | 実技制作・課題制作物・授業への姿勢 ワークシート記述など | 6割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 実技制作・課題制作物・授業への姿勢 ノート等記述など | 4割 |
| 態 | 協働力 | 授業時の観察 授業に臨む姿勢など | |

◇5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|---|---|---|---|------|
| 1学期 | 【表現】花鳥図の模写 【デザイン】花の平面構成・木彫作品の仕上げ 【鑑賞】日本美術と桜、音楽とデザイン紹介、伝統を生かす実例、都市計画の紹介等 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 2学期 | 【鑑賞】ガラス史の紹介 【デザイン】サンドブラストによるクラフトデザイン | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 3学期 | 【表現】エッチングボード・絵本の制作 【鑑賞】編集デザイン例・映像表現 | ○ | ○ | ○ | 9 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 芸術（書道）科

| | | | |
|----|---|----------|------|
| 科目 | 書道演習 | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 1単位（必履修） | |
| 目標 | 書道Ⅰで習得した表現や鑑賞の能力を働かせ、意図に基づく構想を生活や社会の中で活用し、書の伝統や文化についての理解を深める。また、共同制作をとおして他者と協働し、発展的な学びに向かい自己調整力を育成する、 | | |

◇1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用Ⅱ | レベル3 A 活用Ⅰ | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|--|---|--|---|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、書Ⅰで習得した書表現の技能を使いこなし、生活や社会における文字や書と豊かに関わることができた。 | 支援なしで、書Ⅰで習得した書表現の技能を効果的に活用し、生活や社会における文字や書と関わることができた。 | 支援を得ながら、書Ⅰで習得した書表現について理解し生活や社会における文字や書との関わりに気付いた。 | 書Ⅰで習得した書表現について十分に理解し生活や社会における文字や書との関わりに関付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、伝統の中で培われた書的美を感受し、書Ⅰで習得した多様な書表現の技能を使いこなし、自らの思いや意図に基づく表現を工夫することができた。 | 支援なしで、自らの思いや意図に基づく書表現を理解し、効果的に工夫した表現を果すことができた。 | 支援を得ながら、自らの思いや意図に基づく書表現の工夫を理解し、表現することができた。 | 自らの思いや意図に基づく表現の工夫を十分に理解できず、表現することができなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで他者と協働し、発展的な学びに向かい自己調整力を使いこなし的確な改善に向けて主体的に取り組むことができた。 | 支援なしで、他者と協働し、発展的な学びに向かい他者の指摘する改善点を効果的に取り入れ、自分に与えられた役割を果すことができた。 | 支援を得ながら、発展的な学びに向かい他者の指摘する改善点を取り入れ、自分に与えられた役割を果すことができた。 | 発展的な学びに向かい他者の指摘する改善点を取り入れ、自分に与えられた役割を十分に果たそうとすることができなかった。 |

◇2 教科書・使用教材等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教科書「書Ⅱ」教育図書出版 ・プリント教材 ・書道用具 ・各自用意するもの（A4書道ノート・B4鉛筆・のり） |
|---|

◇3 授業の方法・学び方

| |
|--|
| 書Ⅰの発展学習を作品制作や生活に活用するとともに、共同制作では「今の思い」を言葉にし、これまでの学習で得た書表現の技能や鑑賞力を活用し、協働しながら改善を重ね、書道の学習の集大成として完成させる。 |
|--|

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|--------------------------------|---|-----------|
| 知 | 論理的思考力 基礎知識と能力 実践力 | プリントによる課題、制作過程表および完成作品、授業時の観察、ノート等記述など | 4割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | プリントによる課題、制作過程表および完成作品、授業時の観察、ノート等記述など | 6割 |
| 態 | 協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性 | 制作過程表、自己および相互批評内容、授業時の観察、ノート等記述・作品に取り組む姿勢など | |

◇5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|--|---|---|---|------|
| 1学期 | 【漢字の書】 篆書～隸書のまとめ 【伝統文化としての書】 ① 「継ぎ紙制作法」を理解し、修学旅行用カードに活用、言葉を書く | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 2学期 | ② 「継ぎ紙」についての理解を深め、意図に基づく構想を二枚目カードに活用する 【漢字仮名交じりの書】 ～共同制作 ① 漢字仮名交じりの書創作法 ② 「今の思い」を言葉にし、学習の集大成としての構想を考える | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 3学期 | 【漢字仮名交じりの書】 ～共同作品制作 試書→相互評価→改善→互評会→完成 【学習の振り返り】 | ○ | ○ | ○ | 9 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 英語科

| | | | |
|----|--|----------|------|
| 科目 | 英語コミュニケーションⅡ | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 4単位（必履修） | |
| 目標 | 様々な英語を読み聞きして内容を理解し、自分の考えを書いたり話したりできる能力を養う。 英語を使い積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 | | |

◇ 1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用Ⅱ | レベル3 A 活用Ⅰ | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|--|--|---|---|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、英文を正しく理解することができる。単語や文法を理解し 使いこなし、英文を要約 したり自分の考えを論理的にまとめることができる。 | 支援なしで、英文を理解することができる。単語や文法を 効果的に用いて英文の要約 ができる。 | 支援を得ながら、必要な文法や単語の意味を理解し、 英文を理解 することができる。 | 英文を読むのに必要な文法や単語の意味を 十分に理解せず英文を正しく理解できない 。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを、適切な英語を 使いこなし表現 することができる。 | 支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを 効果的に英語を用いて表現 することができる。 | 支援を得ながら、設問や課題に対する自分の考えを 表現 できる。 | 設問や課題に対する自分の課題に対する自分の考えを英語で 十分に表現できなかつた 。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、与えられた課題に取り組み、 積極的に課題解決を達成 し、自主的に別の課題にも取り組む姿勢を示した。 | 支援なしで、与えられた課題に取り組み、 果的に課題解決を果たせた 。 | 支援を得ながら、与えられた課題に取り組み、課題解決を 果たせた 。 | 与えられた諸課題に取り組み、課題解決に努力することを 十分に果たそうとしなかつた 。 |

◇ 2 教科書・使用教材等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 教科書「ENRICH LEARNING II」東京書籍 副教材「LEAP」数研出版 <ul style="list-style-type: none"> 「Cutting Edge Green, Blue」EMILE 出版 「Focus on Listening Standard」EMILE 出版 |
|---|

◇ 3 授業の方法・学び方

| |
|--|
| 教科書の英文を使用し、アウトプット中心の活動を通して4技能の育成を行う。JETやALTとのTTも定期的に設ける。その他アプリ等を使用し4技能の自学自習も可能にしている。 |
|--|

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|--------------------------------|--|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査・課題テスト・実技テスト・授業内テスト 課題制作物・授業時の観察等 | 約6割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査・課題テスト・実技テスト・授業内テスト 課題制作物・授業時の観察等 | 約4割 |
| 態 | 協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性 | 課題テスト・実技テスト・授業内テスト・課題制作物・ 授業時の観察・テストや授業への取組み状況等 | |

◇ 5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|--|---|---|---|------|
| 1学期 | 【ENRICH LEARNING II】 Unit1~Unit4 【LEAP】単語テスト 【Cutting Edge Green】Chapter1~9 【Focus on Listening Standard】週1回目安 【スタディサプリ English】 考査期間ごとに実施 | ○ | ○ | ○ | 5 2 |
| 2学期 | 【ENRICH LEARNING II】 Unit5~Unit8 【LEAP】単語テスト 【Cutting Edge Green】Chapter10~18 【Focus on Listening Standard】週1回目安 【スタディサプリ English】 考査期間ごとに実施 | ○ | ○ | ○ | 5 2 |
| 3学期 | 【ENRICH LEARNING II】 Unit9~Unit10 【LEAP】単語テスト 【Cutting Edge Blue】Chapter1~5 【Focus on Listening Standard】週1回目安 【スタディサプリ English】 考査期間ごとに実施 | ○ | ○ | ○ | 3 6 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 英語科

| | | | |
|----|---|----------|------|
| 科目 | 論理・表現Ⅱ | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 2単位（必履修） | |
| 目標 | 日常的な話題について、自らが得た情報や自らの意見を、正しい英語表現で論理的に伝える能力と態度を養う。 そのために必要な英語のきまりや特徴を理解し、正しく英文を作れる能力を育成する。 | | |

◇1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用Ⅱ | レベル3 A 活用Ⅰ | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|---|---|---------------------------------------|--|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、英文を正しく作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を使いこなし、情報や自分の考えを論理的に表現できる。 | 支援なしで、英文を作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を効果的に用いて情報や自分の考えを表現できる。 | 支援を得ながら、必要な英語のきまりや特徴を理解し、英文を作ることができる。 | 英文を作るのに必要な英語のきまりや特徴を十分に理解せず正しい英文を作れない。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを、適切な英語を使いこなし、要点や意図を明確にしなが論理的に表現することができる。 | 支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを、内容を整理した上で効果的に英語で表現できる。 | 支援を得ながら、設問や課題に対する自分の考えを英語で表現できる。 | 設問や課題に対する自分の考えを英語で十分に表現できなかった。 |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、与えられた課題に取り組み、積極的に課題解決を達成し、自主的に別の課題にも取り組む姿勢を示した。 | 支援なしで、与えられた課題に取り組み、果的に課題解決を果たせた。 | 支援を得ながら、与えられた課題に取り組み、課題解決を果たせた。 | 与えられた諸課題に取り組み、課題解決に努力することを十分に果たそうとしなかった。 |

◇2 教科書・使用教材等

| |
|--|
| ・教科書「Vision QuestⅡ Ace English Logical and Expression」啓林館 ・副教材 桐原書店 「Power Stage 英文法・語法問題 New Edition」 「Power Stage 英文法・語法問題トレーニングブック Standard」 |
|--|

◇3 授業の方法・学び方

| |
|---|
| 教科書の表現を参考に、毎時間英語で話したり書いたりする活動を行う。その際生徒たちにAIを利用させながら、自分で添削までさせ、自分の表現力の幅を広げさせる。また、表現に必要な文法の問題演習は自学自習を中心に行う。 |
|---|

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|-----------------------------|-----------------|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査・課題テスト | 6割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査・課題テスト | 4割 |
| 態 | 協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性 | 課題制作物・提出物・課題テスト | |

◇5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|--|---|---|---|------|
| 1学期 | 【Vision Quest Ⅱ】Unit1~4 【Power Stage 英文法・語法問題 New Edition】小テストを実施 【Power Stage 英文法・語法問題トレーニングブック Standard】第1章～第10章 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| 2学期 | 【Vision Quest Ⅱ】Unit5~8 【Power Stage 英文法・語法問題 New Edition】小テストを実施 【Power Stage 英文法・語法問題トレーニングブック Standard】第11～第20 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| 3学期 | 【Vision Quest Ⅱ】Unit9~12 【Power Stage 英文法・語法問題 New Edition】小テストを実施 【Power Stage 英文法・語法問題トレーニングブック Standard】第21～第25 | ○ | ○ | ○ | 18 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 英語科

| | | | |
|----|---|-----------|------|
| 科目 | 英語演習 A | 履修学年・2 学年 | 教科担当 |
| | | 1 単位（選択） | |
| 目標 | 様々な英語を読み聞きしで内容を理解し、例文暗唱を通して自分の考えを書いたり話したりできる能力の基礎を養う。 | | |

◇ 1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|---------------------------|---|---|--|--|
| (知) 知識 技能 | 支援なしで、英文を正しく理解することができる。単語や文法を理解し使いこなし、英文を要約したり自分の考えを論理的にまとめることができる。 | 支援なしで、英文を理解することができる。単語や文法を効果的に用いて英文の要約ができる。 | 支援を得ながら、必要な文法や単語の意味を理解し、英文を理解することができる。 | 英文を読むのに必要な文法や単語の意味を十分に理解せず英文を正しく理解できない。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを、適切な英語を使いこなし表現することができる。 | 支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを効果的に英語を用いて表現することができる。 | 支援を得ながら、設問や課題に対する自分の考えを表現できる。 | 設問や課題に対する自分の課題に対する自分の考えを英語で十分に表現できなかった。 |
| (態) 学びに 向かう力 人間性 | 支援なしで、与えられた課題に取り組み、積極的に課題解決を達成し、自主的に別の課題にも取り組む姿勢を示した。 | 支援なしで、与えられた課題に取り組み、果的に課題解決を果たせた。 | 支援を得ながら、与えられた課題に取り組み、課題解決を果たせた。 | 与えられた諸課題に取り組み、課題解決に努力することを十分に果たそうとしなかった。 |

◇ 2 教科書・使用教材等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 教科書「CROSSBEAM S2」EMILE 出版 標準 英文法・語法問題 1 0 0 0 いいずな書店 プリント教材 ・学習端末 |
|---|

◇ 3 授業の方法・学び方

| |
|---|
| 教科書、副教材の本文を元に講義と問題演習を行う。文法学習では基本例文の理解を徹底する。 |
|---|

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|--------------------------------|---|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など | 6 割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述 など | 4 割 |
| 態 | 協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性 | 実技テスト・課題制作物・授業時の観察 ノート等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など | |

◇ 5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|------|---|---|---|---|------|
| 1 学期 | 【CROSSBEAM S2】 Chapter1 ~8 【標準 英文法・語法問題 1 0 0 0】 授業該当箇所 | ○ | ○ | ○ | 1 3 |
| 2 学期 | 【CROSSBEAM S2】 Chapter9~15 【標準 英文法・語法問題 1 0 0 0】 授業該当箇所 | ○ | ○ | ○ | 1 3 |
| 3 学期 | 【CROSSBEAM S2】 自校作成入試過去問プリント等 【標準 英文法・語法問題 1 0 0 0】 授業該当箇所 | ○ | ○ | ○ | 9 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 家庭科

| | | | |
|----|---|----------|------|
| 科目 | 家庭基礎 | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 2単位（必履修） | |
| 目標 | 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。 | | |

◇ 1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|---------------------------|---|--|---|---|
| (知) 知識 技能 | 支援なしで、生活課題を解決するために必要な知識と技術を使いこなし、家族や社会を支える環境づくりを実践することができた。 | 支援なしで、生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、よりよい生活環境について、効果的に捉えることができた。 | 支援を得ながら、生活課題を解決するために必要な知識と技術を学習し、よりよい生活環境について理解し気付けた。 | 生活課題を解決するために必要な知識と技術を十分に理解しよりよい生活環境について気付けなかった。 |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、現状の生活課題を発見し、合理的・計画的な解決方法を使いこなし柔軟で説得力のある自己表現を行い伝え、周囲に良い影響を与えることができた。 | 支援なしで、現状の生活課題を発見し効果的で合理的・計画的な解決を行い、自己の考えたことを他者に伝えることができた。 | 支援を得ながら、現状の生活課題を発見し、合理的・計画的な解決方法を理解し表現した。 | 現状の生活課題を発見し、合理的・計画的な解決方法を十分に理解できず表現できなかった。 |
| (態) 学びに 向かう力 人間性 | 支援なしで、ペア・グループ活動において協力して取り組み、それを使いこなし発表したり対応したりすることができる。 | 支援なしで、ペア・グループ活動において相手の立場を察して効果的に発言やサポートをして貢献し役割を果たせた。 | 支援を得ながら、ペア・グループ活動において自分の役割を果たせた。 | ペア・グループ活動において自分の役割を十分に果たそうとしなかった。 |

◇ 2 教科書・使用教材等

- ・教科書「高等学校家庭基礎」第一学習社
- ・補助教材「最新家庭生活ハンドブック」第一学習社
- ・プリント教材 ・学習端末
- ・各自用意するもの（A4 ファイル）

◇ 3 授業の方法・学び方

小中学校までの基礎的な知識をベースに、生活を主体的に営むために必要な更なる学習をし理解を深める。課題の発見と解決に向けた対話を行い、まとめ発表する形式もとる。また、実習を通して技能を獲得する。

◇ 4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|--------------------------------|---|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 定期考査・実力テスト・課題制作物・授業時の観察 プリント等記述 など | 6割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 定期考査・実技テスト・課題制作物・授業時の観察 プリント等記述 など | 4割 |
| 態 | 協働力・コミュニケーション能力 リーダーシップ・積極性 | 定期考査・課題制作物・授業時の観察 プリント等記述・自己評価・授業に臨む姿勢など | |

◇ 5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・<領域> 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|--|---|---|---|------|
| 1学期 | 【これからの生き方と家族】 生涯の生活設計、家族・家庭と社会とのかかわり 【衣生活をつくる】 人の一生と被服、被服材料と管理、リバーシブルトートバックの制作 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| 2学期 | 【次世代をはぐくむ・充実した生涯へ】 地域社会と子育て支援、超高齢社会を生きる 【食生活をつくる】 人の一生と食事、栄養と食品、食生活をデザインする、調理実習 | ○ | ○ | ○ | 26 |
| 3学期 | 【住生活をつくる】 人の一生と住まい、住生活の計画と選択 【経済生活をつくる】 私たちの暮らしと経済、消費者問題を考える、持続可能な社会を目指して | ○ | ○ | ○ | 18 |

調布北高校 令和8年度 年間授業計画（シラバス） 総合的な探究の時間

| | | | |
|----|--|----------|------|
| 科目 | 総合的な探究の時間 | 履修学年・2学年 | 教科担当 |
| | | 1単位（必履修） | |
| 目標 | 探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。 試行錯誤を楽しむことを経験する。 | | |

◇1 観点評価と目標

| | レベル4 S 活用II | レベル3 A 活用I | レベル2 B 習得 | レベル1 C 習得不十分 |
|-----------------|---|---|---|--|
| (知) 知識技能 | 支援なしで、個人端末を使いこなしてデータ処理や発表資料を適切にまた美しく作ることができた。 | 支援なしで、個人端末を利用し効果的にデータ処理や発表資料を作成することが出来た | 支援を得ながら、個人端末を利用しデータ処理や発表資料を作成することに理解し気付けた | 個人端末を使用したデータ処理や発表資料の作成が十分に理解し気付けなかった |
| (思) 思考力 判断力 表現力 | 支援なしで、論文やビッグデータなど参考資料を使いこなして計画的に調査や実験を行い考察を導くことができた | 支援なしで、論文やビッグデータなどの参考資料を利用し効果的に調査や実験を行い考察を導くことができた | 支援を得ながら、参考資料を利用して調査や実験を行うことを理解して、考察を導くことができた。 | 参考資料を利用して調査や実験を行うことを十分に理解できず考察を導くことが出来なかった |
| (態) 学びに向かう力 人間性 | 支援なしで、他者と共に意欲的に探究活動に取り組み、それを使いこなして研究の発展性を得ることができた | 支援なし他者とともに意欲的に探究活動に取り組み、効果的に研究を遂行することを果たせた | 支援を得ながら、他者とともに意欲的に探究活動に取り組み、研究を遂行することを果たせた | 意欲に欠け、研究の実施を十分に果たそうとしなかった |

◇2 教科書・使用教材等

| |
|--------------|
| ゼミ講師等が作成した資料 |
|--------------|

◇3 授業の方法・学び方

| |
|---|
| グループ研究ではメンバーと一緒に探究を楽しんでください。個人研究では突飛なアイデアを意識してください。 |
|---|

◇4 どのように評価されるか（イメージ）

| 観点 | 資質・能力（グランドデザイン） | 評価の方法 | 定期考査の配点割合 |
|----|--------------------|------------|-----------|
| 知 | 論理的思考力・基礎知識と能力 実践力 | 発表資料、発表の評価 | 5割 |
| 思 | 創造力・表現力 発信力 | 発表資料、発表の評価 | 5割 |
| 態 | 協働力 | 発表資料、発表の評価 | |

◇5 授業計画の目安

| 学期 | 【単元】・指導内容・＜領域＞ 等 | 知 | 思 | 態 | 配当時間 |
|-----|--------------------|---|---|---|------|
| 1学期 | 個人研究 研究計画立案、調査・実験 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 2学期 | 検証実験、要旨をまとめる、外部発表会 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 3学期 | ポスター発表会 | ○ | ○ | ○ | 9 |